

第3回佐賀大学総合分析実験センターセミナー

フローサイトメーターの測定原理と その多様な応用例



Miltenyi Biotec

- ▶日時: 11月14日(火) 16:00~17:00
- ▶場所: 医学部院生研究棟 2階 2287室 セミナー室
- ▶演者: ミルテニーバイオテック(株)・フィールドサービス部門
中山創平

フローサイトメーター(FCM)は、液中の粒子ひとつひとつをレーザーで照射し、それらから発する光を検出することで、それらの特性を測定する装置です。医学・生物学研究においては、単細胞の懸濁液を蛍光物質で標識し、その蛍光強度を測定することにより、分子の発現量やその陽性細胞の割合を見積もることに利用されます。FCMは数万もの細胞の特性をわずかな時間で測定できることから、免疫・幹細胞研究など医学・生物学研究に必須のツールです。

弊社のFCM、MACSQuant Analyzer はベンチトップタイプで、自動洗浄・シャットダウン、タッチパネル操作など非常に使用しやすいモデルになっています。しかし、そのコンパクトなボディにも関わらず、紫・青・赤の3レーザー&8カラーを搭載し、幅広く蛍光色素を検出することができるほか、チューブ一本の測定から96ウェルプレートを利用した自動測定、サンプル中の細胞の濃度測定など、研究を行う上で必要十分な機能を兼ね備えています。

すでに共通機器室に導入させていただいています、MACSQuant Analyzer 9を例として、FCMの測定原理をお話させていただきます。また、免疫学研究以外のFCM解析の例として、弊社製品 autoMACS Pro Separatorと組み合わせた、希少細胞集団の解析や、細胞増殖、細胞周期解析などを紹介させていただきたいと思います。



相談・測定受付

- 日時: 11/14(火) ①13:30 -15:00
11/15(水) ②10:30 -12:00
③13:30 -15:00
④15:30 -17:00

場所: 医学部院生研究棟
2階 2286-2室



本セミナーは、総合分析実験センターのFD・SDセミナーとしても扱われます。

連絡先

機器分析部門
森 (2404 / PHS 3969)